

# 最近の事例（平成20年警報発表分）

緊急地震速報（警報）を発表した地震（平成20年）

	震央等	発生日	M	観測した最大震度	予測した最大震度	結果
事例1	宮古島近海	4月28日	5.2	4	5弱	—
事例2	茨城県沖	5月8日	7.0	5弱	(5弱) <sup>※1</sup>	×
事例3	平成20年岩手・宮城内陸地震	6月14日	7.2	6強	6強	○
事例4	同 最大余震	6月14日	5.7	5弱	5弱	○
事例5	同 余震	6月14日	5.2	4	(5弱) <sup>※2</sup>	—
事例6	沖縄本島近海	7月8日	6.1	5弱	5弱	△
事例7	岩手県沿岸北部	7月24日	6.8	6弱	5弱	△
事例8	十勝沖	9月11日	7.1	5弱	5強	◎
事例9	根室半島南東沖	11月22日	5.2	4	5弱	—

震度5弱以上を観測したが緊急地震速報（警報）を発表しなかった地震（平成20年）

	震央等	発生日	M	観測した最大震度	予測した最大震度	結果
事例10	石川県能登地方	1月26日	4.8	5弱	4	×
事例11	茨城県沖	7月5日	5.2	5弱	4	×

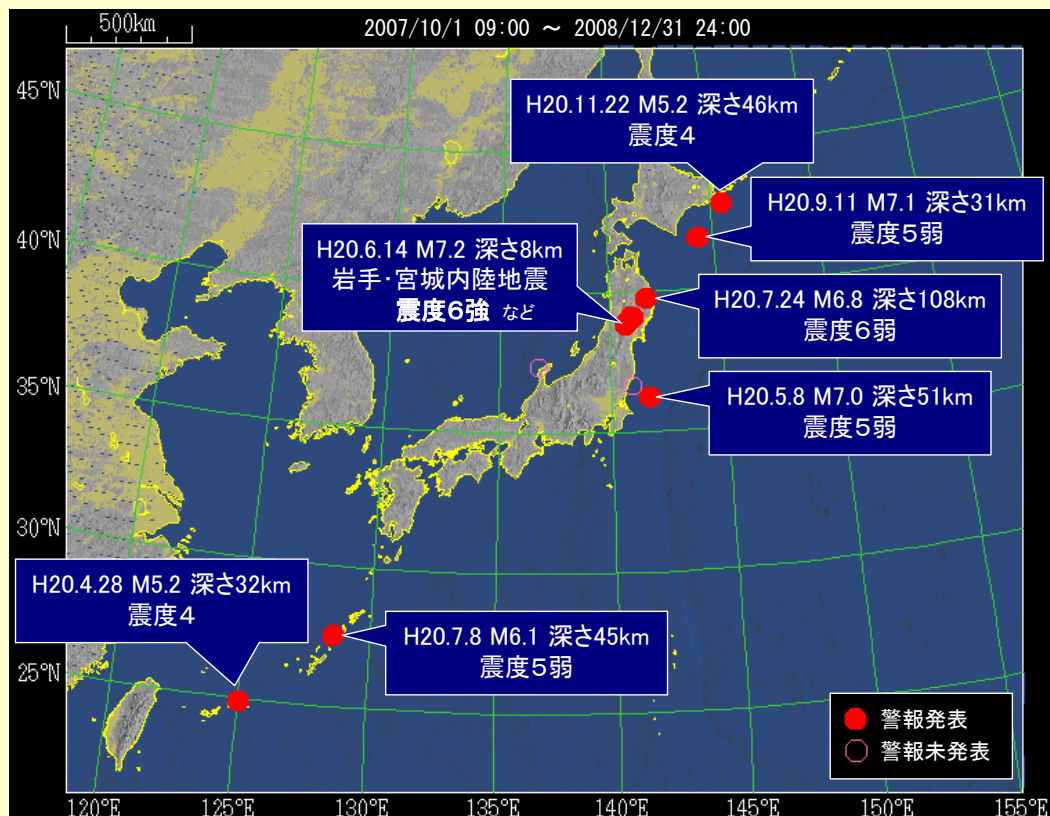
凡例:

- ◎: 観測した最大震度が5弱以上で、全対象予報区の全域で間に合った
- : 観測した最大震度が5弱以上で、全対象予報区で間に合ったが、予報区内の一部の領域で間に合わなかった
- △: 観測した最大震度が5弱以上で、間に合った予報区もあるが、予報区内の全域で間に合わなかった予報区もある
- ×: 見逃し（観測した最大震度が5弱以上で、全対象予報区で間に合わなかった又は緊急地震速報（警報）を発表しなかった）
- : 空振り（観測した最大震度が4以下）

※1 警報を発表した時点で、全対象予報区に間に合わなかった。

※2 観測した最大震度は4で、空振りであり、且つ、警報を発表した時点で、全対象予報区に間に合わなかった。

# 最近の事例（平成20年警報発表分）



9個の地震について、10回発表（岩手・宮城内陸地震では第2報を発表）

# 予測震度の精度

一般向け緊急地震速報の条件で見た予測された最大震度と観測された震度の比較(再計算)

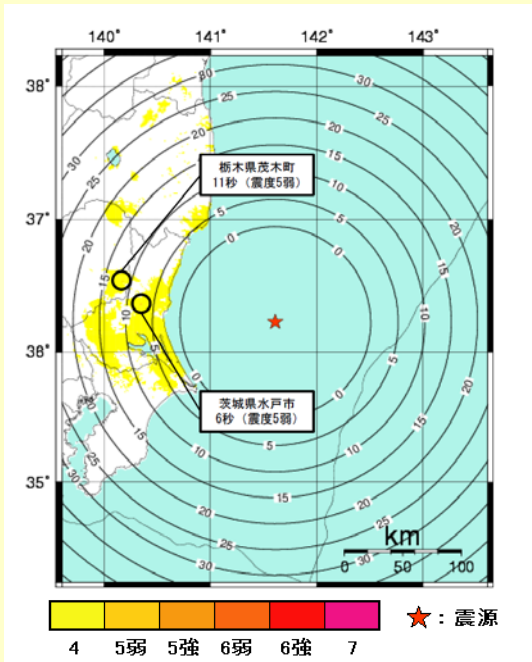
		緊急地震速報での予測震度							
		2以下	3	4	5弱	5強	6弱	6強	7
観測された震度	1以下			12					
	2			14					
	3			90	1	1			
	4	37	100	93	16	3			
	5弱	1	17	25	11	2			
	5強		3	11	6	2			
	6弱			1	2	1	1		
	6強			2		2	1		
	7				1				

緊急地震速報の予測震度が4以上または観測震度が4以上		
±0(一致)	107	24%
±1階級の違い	241	53%
±2階級以上の違い	106	23%
合計	456	100%

(対象期間：平成16年2月25日(試験運用開始日)～平成20年12月31日)

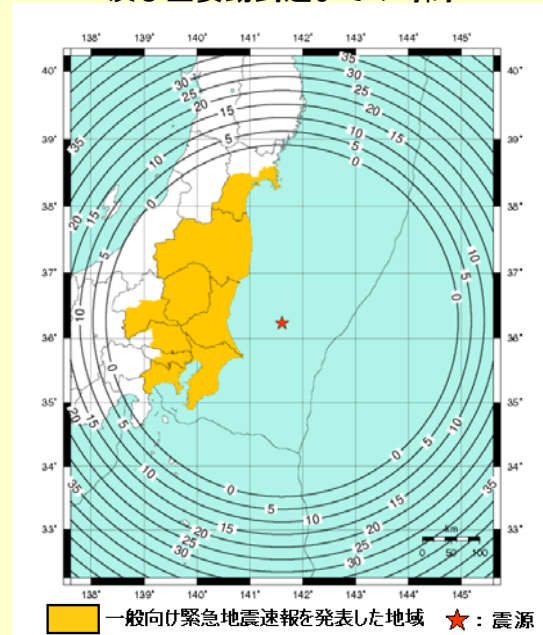
## 事例2(茨城県沖、平成20年5月8日、M7.0) その1

緊急地震速報第1報(予報)提供から  
主要動到達までの時間及び推計震度分布図



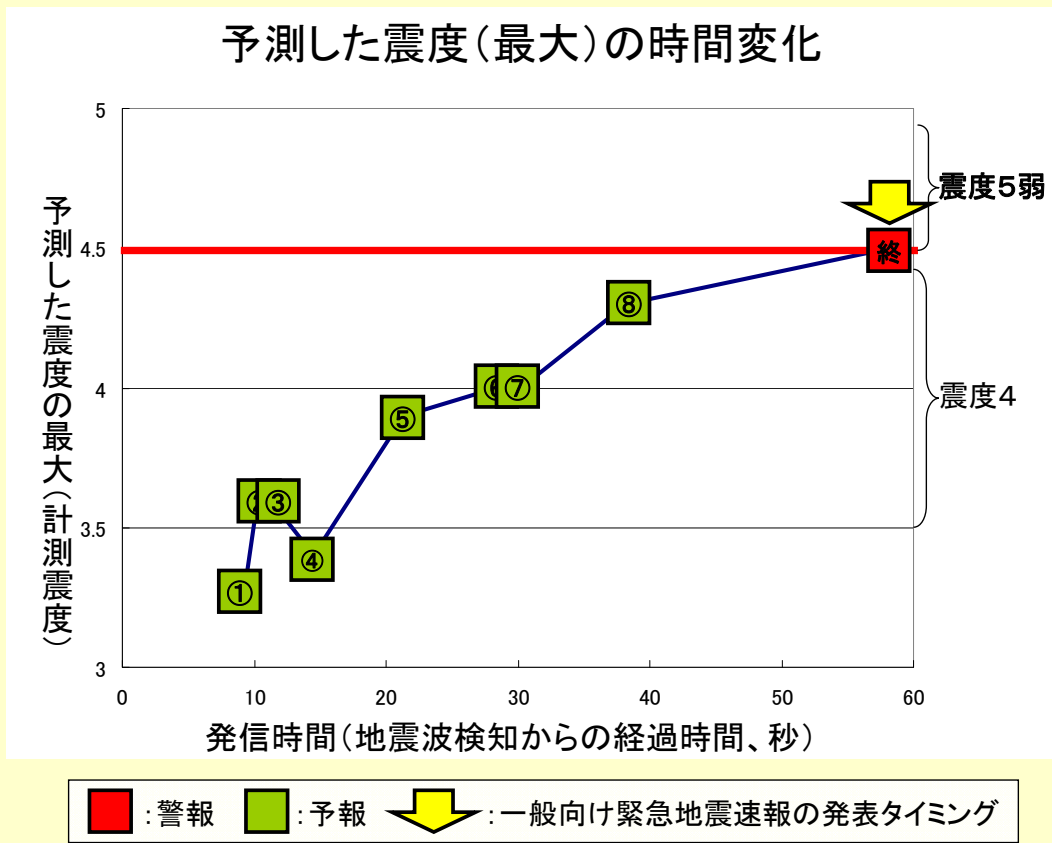
●第1報(予報)では間に合っている

一般向け緊急地震速報(警報)の予測震度  
及び主要動到達までの時間



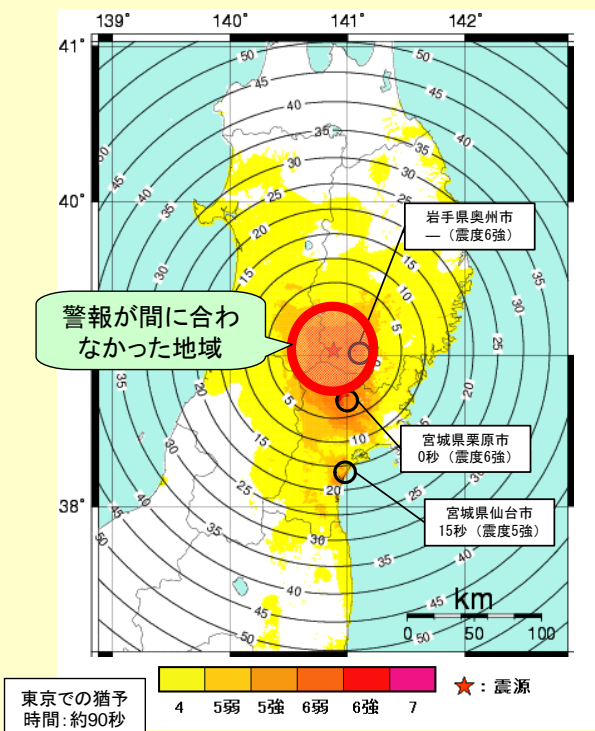
●警報対象地域の全てで間に合っていない

## 事例2 (茨城県沖、平成20年5月8日、M7.0) その2



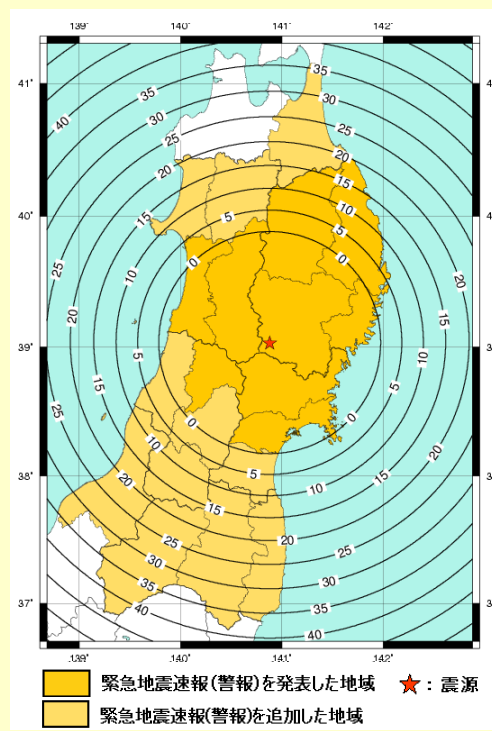
## 事例3 (岩手・宮城内陸地震、6月14日8時43分、M7.2) その1

緊急地震速報(警報)提供から  
主要動到達までの時間及び推計震度分布図



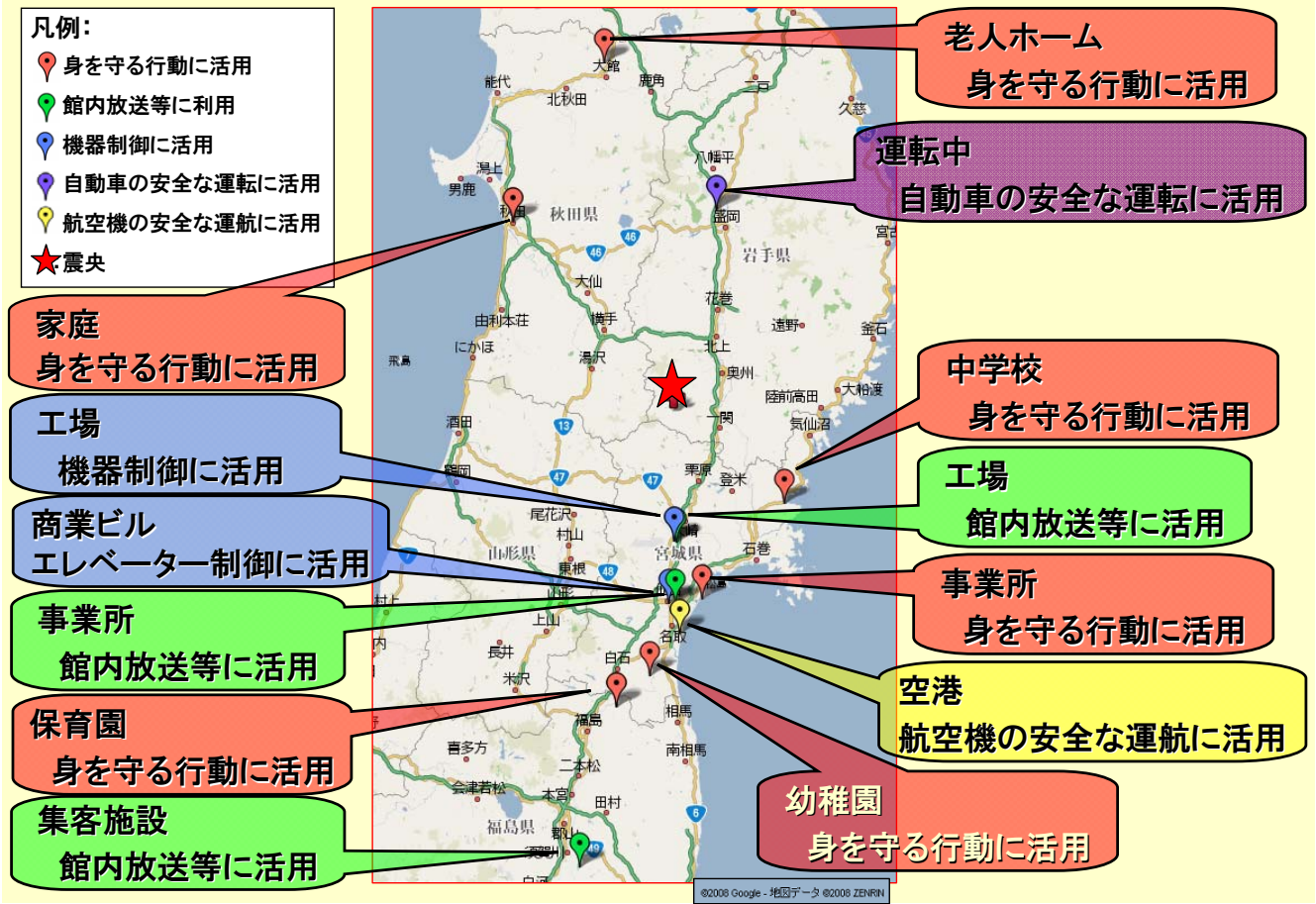
・震源の近く(約30km以内)では間に合っていない

緊急地震速報(警報)の切替から  
主要動到達までの時間及び発表地域



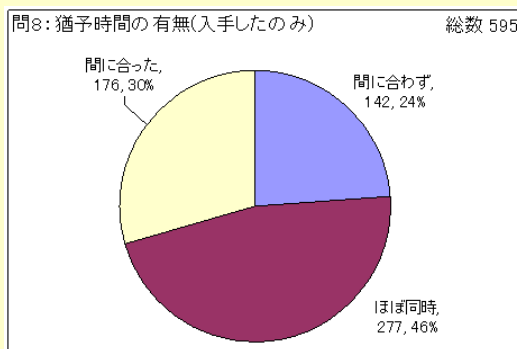
・未発表地域で震度5弱を予測したため第2報を発表した

### 事例3（岩手・宮城内陸地震、6月14日8時43分、M7.2） その2

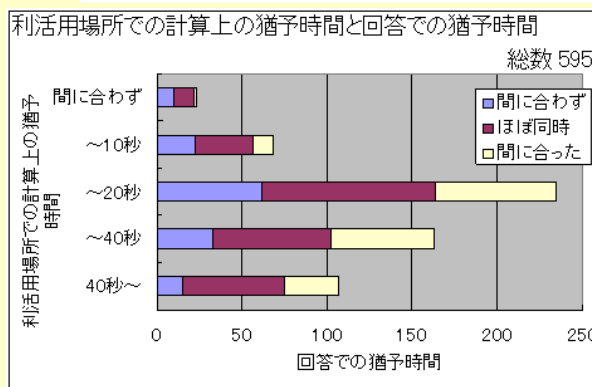


### 事例3（岩手・宮城内陸地震、6月14日8時43分、M7.2） その3

## 岩手・宮城内陸地震時の猶予時間 ～事業者を対象としたアンケート結果(抜粋)～



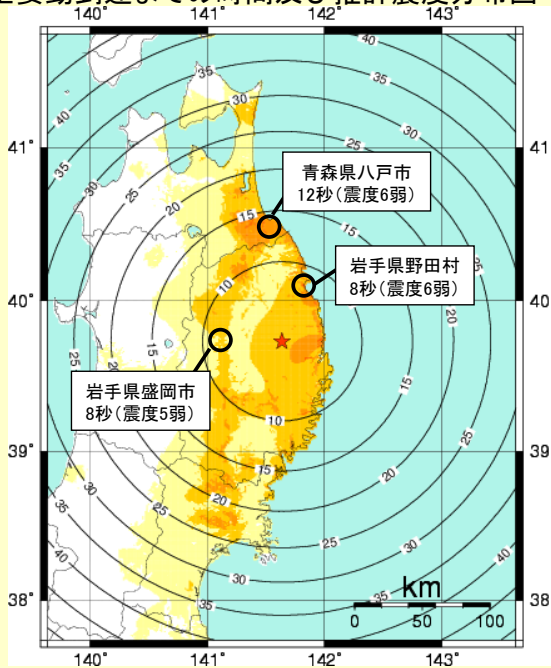
「間に合った」は30%



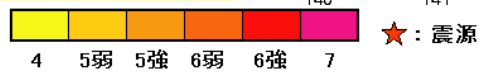
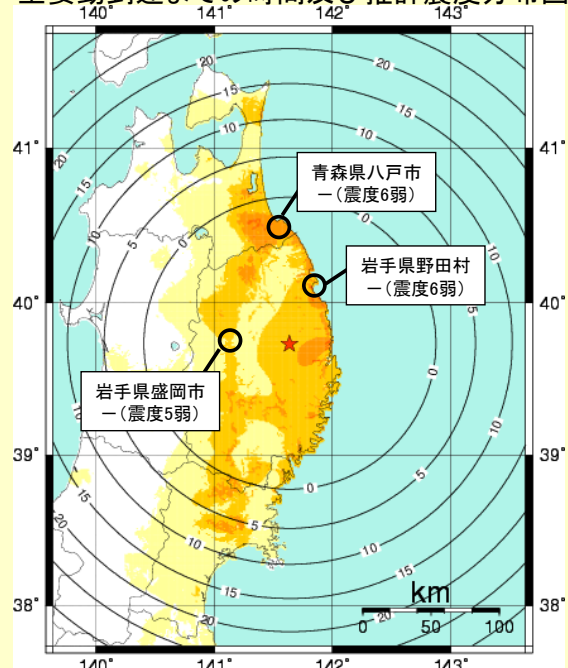
計算上の猶予時間が40秒以上あっても、「間に合わず」や「ほぼ同時」の回答あり

## 事例7(岩手県沿岸北部、平成20年7月24日、M6.8)

緊急地震速報第1報(予報)提供から  
主要動到達までの時間及び推計震度分布図



緊急地震速報(警報)提供から  
主要動到達までの時間及び推計震度分布図

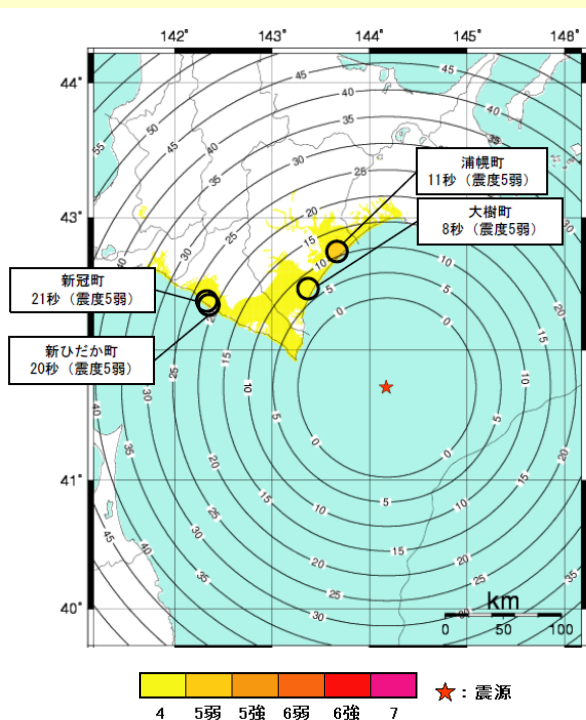


•第1報(予報)では間に合っている

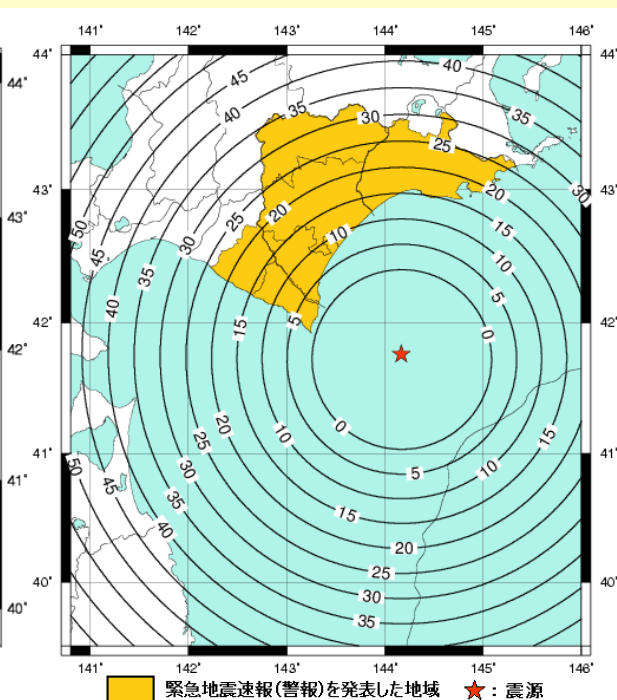
•震度の予測精度が十分でなく、早い  
タイミングで警報発表ができなかった

## 事例8(十勝沖、平成20年9月11日、M7.1)

緊急地震速報(警報)提供から  
主要動到達までの時間及び推計震度分布図



緊急地震速報(警報)提供から  
主要動到達までの時間及び発表地域



•警報対象地域の全てに間に合っ  
ている

## 緊急地震速報(予報)における誤報等の事例(平成20年)

- 観測機器の異常(6月20日、最大震度2)  
岩手葛巻観測点の機器異常により、予測震度4で発表。  
地震波形から機器異常と判断して機器の交換で対応済み。
- パラメータの設定ミス(7月10日、最大震度2)  
パラメータの設定ミスにより、100gal超の加速度を観測した際に発表する緊急地震速報(予報)を誤って発表。  
当該パラメータを修正するとともに、全観測点を確認。  
この発表により、都営地下鉄等に影響あり。
- 雷に伴うキャンセル報(9月7日、岐阜黒川観測点)  
雷により、100gal超の加速度を観測した際に発表する緊急地震速報(予報)を発表。約10秒後にキャンセル報。  
この発表により、名古屋市営地下鉄に影響あり。
- 島しょ部の微小な地震に伴うキャンセル報(10月7日、M2.4)  
最大震度1を観測した地震であったが、1地点でしか検知しなかったことから、約15秒後にキャンセル報を発信。